

2007年10月29日  
東京急行電鉄株式会社  
株式会社ローソン

東急目黒線・大井町線大岡山駅構内に2007年11月5日(月)  
ローソン プラス トークス  
**駅型コンビニエンスストア「LAWSON + toks」2号店がオープン**  
小型店舗に対応する実験什器を導入

東京急行電鉄株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:越村敏昭、以下「東急電鉄」)と株式会社ローソン(本社:東京都品川区、代表取締役社長兼 CEO:新浪剛史、以下「ローソン」)は両社が開発した駅型コンビニエンスストア「LAWSON + toks(ローソン プラス トークス)」の2号店を2007年11月5日(月)、東急目黒線・大井町線大岡山駅構内に開店します。

今回開店する2号店は、大岡山駅の改札出口と日本初の駅上病院となる東急病院(11月3日(土・祝)開院)入口の両方に面しており、駅をご利用のお客さまはじめ、病院をご利用になる方々にも、便利にお使いいただけるコンビニエンスストアです。店舗面積約57m<sup>2</sup>とローソンの標準店舗の3分の1程度の広さですが、従来のものよりも棚の奥行きが浅い新型什器の導入により通路幅を確保するなど、お買い物しやすい店舗となるように工夫しています。(ローソンは今回導入する新型什器の効果を検証し、今後、駅構内などに新店する小型店舗に導入することを検討していきます)

両社は2005年11月に業務提携契約を締結し、両者のノウハウを活かした駅型コンビニエンスストア業態の共同開発と、東急線駅構内および駅周辺への出店を推進しています。この業務提携に基づく第1号店舗「LAWSON + toks(ローソン プラス トークス)」は2006年8月、東急田園都市線の長津田駅構内に開店しました。駅売店とコンビニエンスストアの店舗形状の融合により、駅売店特有の接客スピードと、コンビニエンスストアの豊富な品揃えと多様なサービスの提供が同時に実現されています。

今後は、1号店・2号店で得られたノウハウをもとに、店舗形状、什器、商品、サービス等について検討を重ね、東急線その他駅へも店舗を展開する予定です。

なお、店舗運営は、東急電鉄の100%子会社である株式会社東急ステーションリテールサービスが、ローソンのフランチャイジー(加盟者)として行います。

店舗の概要は別紙のとおりです。

(別紙)

### 店舗概要

店 舗 名 LAWSON + toks(ローソン プラス トークス) 大岡山店  
開 業 日 時 2007年11月5日(月) 7:00  
所 在 地 東京都大田区北千束3 - 27 - 1  
営 業 時 間 7:00 ~ 22:00  
店 舗 面 積 56.81㎡  
品 揃 品 目 数 約1,000品目  
運 営 者 株式会社東急ステーションリテールサービス  
(本社所在地:東京都目黒区碑文谷6 - 7 - 22)

店舗完成イメージ(店舗左側より)



店舗完成イメージ(店舗右側より)

